

英米文化学会会報 第21号

21

NOVEMBER ISSUE

英米文化学会第86回例会のお知らせ

標記の例会を下記要領にて開催します。

◆開催年月日：平成6年11月26日（土）

◆場 所：日本大学歯学部3号館第7講堂（3階） お茶の水ニコライ堂隣り

◆時 間：15:00-18:00

◆研究発表 15:00-17:00

1. Some Experiments on *Task-based Study* in Cooperative Groups 渡辺 節子（神田外語大学）

司会 藤田 牧子

（神奈川県立衛生短大付属二俣川高校）

2. パールの中のゴシック・ロマンス

——ナサニエル・ホーソーン『緋文字』を中心に——

上野 和子（昭和女子短大）

司会 君塚 淳一（中国短大）

◆懇親忘年会 18:00

場所：ピストロ備前（立食式） 新お茶の水ビル 電話 03-3295-8538

会費：6,000円

学会の郵便局振込口座番号の変更について

現在利用しております郵便局振込の口座番号が、コンピュータを全面的に使用するというので、下記のように変更になると通知がありました。平成7年度から、現在の口座番号では振込ができなくなりますのでご注意下さい。

加入者名 英米文化学会

口座番号 00160-7-611777

尚、銀行口座の番号は現在通りです。

加入者名 英米文化学会

銀行 あさひ銀行 毛呂山（もろやま）支店

口座番号 普通預金 3505809

分科会関係のお知らせ

第7分科会発足に向けて

昨年来、イギリス文学・イギリス文化を研究主題とした分科会の設立を望む声が上がっております。函館大会の折、日程の合間をぬって、数人の会員有志の話し合いがもたれ、「とにかく、会員に呼びかけてみよう」ということになりました。

具体的な統一テーマなどはまだ決定をみるに至っておりませんが、「イギリス」にこだわった共同研究を旗印に掲げ、今世紀中の出版を目標に活動を進めて参りたいと思います。近日中に会合を開いてテーマを定め、本格的な活動に入りたいと考えております。統一テーマが決まりましたら、会報で再度連絡致したいと存じます。

ご参加下さる方、関心をお持ちの方、多少でもお心が揺れ動いた方は、ご遠慮なく下記までご照会下さい。統一テーマを決める会合の連絡をさせていただきます。（石川郁二）

大西 章夫（044-965-0588）

曾村 充利（03-3330-8741）

石川 郁二（0492-95-0346）

英米文化学会第86回例会研究発表レジメ1. Some Experiments on *Task-based Study* in Cooperative Groups

Setsuko Watanabe

Language is essentially a means of getting things done.....Alan Maley

Language is best taught when it is being used to transmit messages, and not when it is explicitly taught for conscious learning.....Krashen

言語は本来、意志を伝達する手段であり、ひいては、仕事をなし遂げる手段でもある。

そんな言語本来の目的にかえて学生に興味のある主題を選ばせ、第三者にメッセージを伝える作品を作らせてみた。ガイドブック、文集、教材、新聞、料理の本、服飾事典等である。

作品制作過程における英語習得上の様々な問題点を、具体例をあげながら、紹介したい。

2. パールの中のゴシック・ロマンス

上野 和子

ーナサニエル・ホーソーン『緋文字』を中心にー

現実と虚構の二つの世界のかげ橋としてロマンスを試みたホーソーンは、小説『緋文字』のなかで、極めて奇妙で魅惑的、野ばらのようなパールを創作した。社会的制裁をうけた女を母として、ピューリタンの村のなかで、牧師や老いた医者の中にそだっていくパールのおかれた状況こそ、理想と現実の乖離、ユートピアの夢想、夢と現実の混沌というゴシックの世界に他ならない。ホーソーンは、スペンサー、パニアン、ミルトン等から寓話を、肉体と精神の倫理的関連を、ゲーテやドイツ・ロマン派からは、精神錯乱、悪魔的人間像について感化を受けた。パールは、自分自身ロマンスの風景を彩る一項目として、また、ピューリタン社会の『生きている緋文字』『恥の象徴』として、そして、「父親探し」の彼女を取り巻く残酷な状況により、ゴシックの世界に生きることになる。あまり検証の対象とならなかったパールのゴシック要素を探り、その能動的な問いかけが、自己信頼というアメリカ精神の地平線を指していることを明らかにしたい。

会員住所等の変更のお知らせ

◆住所変更

(本号に同封いたしました会員住所録には旧住所が載っておりますのでご訂正ください)

住所・電話番号・勤務先等に変更が生じた場合には、総務担当理事須田理恵先生(〒

まで郵便にてお早目に連絡をお願いします。

研究発表申し込みの締め切り日について

『英語青年』等の雑誌に例会開催予告をお願いする関係上、研究発表申し込みは例会開催日より3箇月前までをお願いいたします。

例会の開催時期は毎年ほぼ下記の通りです。

3月中旬、6月中旬、11月下旬

また、研究発表の申し込みは例会担当理事鈴木俊二先生(〒124 葛飾区堀切2-47-14)までお願いします。

編集・発行： 英米文化学会編集委員会＝池田 広子、小川 喜正、岸山 睦、武井 朗子、中村 豪、
宮崎 敬子、山根 正弘

発行責任者：中村 豪

〒